



193号

2014/5/1

日中文化交流市民サークル「わんりい」

東京都町田市能ヶ谷7-32-12 田井方

〒195-0053 TEL&FAX:042-734-5100

<http://wanli-san.com/>

Eメール:[wanli@jcom.home.ne.jp](mailto:wanli@jcom.home.ne.jp)

◆「わんりい」HPのアドレスが上記になりました。



### 雲南のお母さんたち (2011年撮影)

雲南省文山チワン族ミャオ族自治州硯山県協成支援第21  
校「リャンローチャオソン両勒僑心小学校」開校式にて(チワン族)

(写真提供: 認定NPO法人・日本雲南聯誼協会)

日本雲南聯誼協会は、経済発展から完全に取り残された雲南省山岳地域の少数民族を対象に、14年もの間教育支援活動を行っています。

活動の柱となる小学校建設事業では、これまでに23校を建設、1万3千人もの子供たちに安全かつ衛生的な学習環境を提供してきました。ここでは、貧困に屈せず、明るく逞しく生きる雲南少数民族の人々やその生活をご紹介します。

(認定NPO法人日本雲南聯誼協会 <http://www.jyfa.org/>)

### 「わんりい」193号の主な目次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 北京雑感(84)紙屋さん               | 2  |
| 諺・慣用句(29)「声東撃西」            | 3  |
| 媛媛讲故事(63)「十五貫」Ⅲ            | 4  |
| 城市めぐり(番外)「麗しの横浜正金銀行」       | 6  |
| 詩人尹世霖の童詩の世界②               | 8  |
| 日本探検記(13)「旧苦米地家住宅」         | 9  |
| 私とシルクロード                   | 10 |
| 四姑娘山・写真だより33               | 12 |
| 絵本・隣のおばあさん                 | 14 |
| 活動報告 小籠包の会/パンの会            | 16 |
| スリランカ・ケラニヤ便り⑩「憎しみ…愛によって止む」 | 18 |
| スリランカ(77)スリランカの鉄道          | 19 |
| 外国語学習法①先ず最初に               | 21 |
| サハ共和国・ヤクーツクだより⑩            | 22 |
| 「わんりい」掲示板                  | 23 |

皆さんは、中国旅行のお土産を買って帰るとしたら、何を選びますか？“中国特産”と言うことになる、絹のスカーフとか、或は文房四宝と言われる筆・硯・墨・紙等でしょうか。でも、これらは皆好みもあるし、第一、選ぶ人間の眼力が問われますから難しいですね。

それで無難な処で、お菓子類とかお茶（厳密に言う、品質を見抜く眼力は必要ですが、目をつぶってお土産用のパッケージを選びましょう）を買って来ます。しかし、最近は、中国の環境問題、物品製造のモラル、或は国家間のギクシャクした関係等を反映して、「中国からのお土産は要らない」と断られることが多くて、ちょっと悲しい思いをしています。これは、喜んでもらえた「紙」のお土産のお話です。

北京の住いの隣に、北京書画研究院という看板をかけた所がありました。その敷地の一隅には、内蒙古で見た王昭君の墓のような雰囲気ながらもっと小さな塔が立っていて、マンションの窓から見下ろすことが出来るので気になっていました。ある時、中に入って見学できると分かったので入ってみると、石造りで、ところどころ欠けてはいますが、かなりがっちりとした建物で、入り口等は一切無く、やはり墓なのかと言う雰囲気唯唯鬱蒼とした木立の中に立っていました。

その敷地の、三環状線に面した位置に、歩道から2、3段上がって横長のお店があり、所謂文房四宝を売る店だと分かりましたが、入ったことはありませんでした。人が入っているのを見たこともありませんでした。

ある時、書道の先生をしている友人が北京に来て、バスを利用した時、その店を見て、入ってみたいと言ったので、初めて入りました。ちょっと埃っぽい店でしたが、筆や硯、墨等が沢山並んでいました。友人が、紙が欲しいというと、店の人は棚の下引き出しから、色々な紙を出して来ました。画仙紙の半切に、5文字、7文字等を書く位置に、金や銀、その他薄色で丸く模様を入れた紙等、私は初めて見ました。友人は、試しに3枚ずつ何種類も買っていました。そのほかにも、こんな小さなお店なのに、多種多様な紙が揃っていて、中国の人が、文房四宝を大事

にしていることがよく分かりました。

その友人が東京からメールをよこし、あの紙がとても上等で、瑠璃廠（骨董や、文房四宝を売る店が集まっている街）で、5倍も6倍も払って買う紙より書きやすいから、日本に帰る時は色々な種類を沢山買ってくるようにとリクエストが入りました。それ以来、帰国の度に大量に買い込んで帰りましたから、お客の少ないそのお店にしたら良いお得意さんだと自負していました。

ところが何年かすると、そのお店は閉まってしまい、移転先が分かりませんでした。マンションの隣のブロックは、自動車の修理工場のようですが、そのブロックの入り口に「硯」と書いて矢印が中を指している張り紙を見つけました。店の名前はありませんでした。あのお店だと直感し中に入ってみました。修理工場の片隅に、場違いな文房具屋さんがあり、正しくあのお店でした。

しかし次回行ってみるともうそこにはありませんでした。但し今回は、以前張り紙のあった場所に簡単な地図が貼ってあって、1ブロック先の路地に移転したことがわかりました。

でもそこは、取り壊しが決まっている地域でした。どうするのか聞いても、未だ決まっていないとのことだったので、今度はしっかり連絡用の電話番号を聞いておきました。その場所で1年間は商売をしていましたが、次に行った時には、もうお店は閉まっていて、そのあたり一帯、すっかり取り壊しの準備が出来ていました。前にもらっておいた電話番号にかけてみましたが、応答はありませんでした。それで、このお店とは縁が切れてしまいました。

どうも、あの文房具店の老板（店主）は、あまり商売が上手ではなかったようです。でも、文房具屋さんには相応しい雰囲気の人でした。

良い紙というのは、製造から長い間に水分が涸れたものと言うのだそうですが、あのお店の紙が良かったのは、長い間売れずいたからであって、若し商売繁盛していたら、あんな良い紙は手に入らなかったかもしれないと複雑な思いで、あの老板を思い出しています。



勝負の世界では良く“相手の裏をかく”という戦術がとられます。つまり相手が予想したのとは反対のことをして相手を出し抜くわけです。このことを表す四字熟語として、あまり一般的ではないのですが「<sup>せいとうげきせい</sup>声東撃西」があります。

事典等ではそれぞれ次のように載っています。

▲フリー百科事典 ウィキペディア：「声東撃西（<sup>せいとうげきせい</sup>せいとうげきせい）は兵法三十六計の第六計にあたる戦術。『東に声して西を撃つ』の意味」

▲小学館 中日大辞典：「声东击西 shēng dōng jī xī 口では東を撃つように言って、西を打つ：奇計で虚を衝く」

この成語の出自は〈通典<sup>1)</sup>・兵典六〉の「声言击东，其实击西」（口では東を攻撃すると言って、実際には西を攻撃する）の部分です。

秦朝<sup>2)</sup>の滅亡後、劉邦<sup>3)</sup>と項羽<sup>4)</sup>は四年に亘り楚漢の戦いを続けました。この年、漢軍を率いる劉邦は韓信を左丞相（大臣の役名）に任命し、項羽軍の魏豹<sup>ぎ ひょう</sup>大将を攻撃する任務を与えました。

魏豹は漢軍が攻撃してくることを知ったので、すぐに柏直を大将に任命し、兵馬を率いて黄河の東岸の薄坂の地に陣営を築きました。

韓信が漢軍を率いて前線に到達してみると、薄坂の地は楚軍（項羽軍）にがっちり守備されていて黄河を渡ることが出来ません。そこで韓信は一計を案じ、“声東撃西”の戦術を使うことに決めました。

まず彼は薄坂の対岸に兵営を設け砦を築き、陣営の周囲に軍旗を立て、昼間は兵たちにそこで訓練させ、鬨の声をあげ、あたかもそこから渡河を強行するかのように見せかけました。そしてその間に韓信はこっそりと漢軍の主力を上流の夏陽の地まで移動させたのです。

夏陽に到着後、兵たちに木桶を沢山作らせ、それ

を繋いで筏にしました。そしてその筏に乗ってこっそり対岸へと渡りはじめました。魏豹の軍隊はそこには守備兵を配備していなかったもので、漢軍はやすやすと黄河を渡り切ることが出来ました。そこから一気に楚軍を攻め、終に魏豹を生け捕りすることに成功しました。さらに楚軍の背後にある首都“安邑”を衝き、陥落させました。

### 〈注記〉

- 1) **通典**：<sup>つてん</sup>（「つでん」とも呼ばれる。唐の<sup>とゆう</sup>杜佑撰。801年成立）堯・舜の時代から唐代に及ぶ歴代の法律や制度の沿革を、食貨・選舉・職官・礼・<sup>がく</sup>樂・兵・刑・州・辺防の9部門に分け記したもの。（デジタル大辞泉）
- 2) **秦**：中国の王朝、紀元前778年～紀元前206年。周代、春秋時代、戦国時代にわたって存在し、紀元前221年に中国を統一したが、紀元前206年に滅亡した。（ウィキペディア）
- 3) **劉邦**：<sup>りゅうほう</sup>前漢の初代皇帝。項羽と共に反秦勢力の一翼を担ったが、垓下に項羽を討ち、前漢を興した。（ウィキペディア）
- 4) **項羽**（<sup>こうせき</sup>項籍）：（紀元前232年～紀元前202年）秦末期の楚の武将。秦造反軍の中核となり秦を滅ぼし、一時“西楚の霸王”と号した。劉邦と楚漢戦争で天下を争い、敗死した。（ウィキペディア）



イラスト ye Lin

さて、劉貴の妾の陳氏のその後はどうでしょうか。

事件が発見された朝、陳氏は早朝に町を出て、実家への帰路を急いで歩いておりました。2、3里（およそ1.5キロ）程歩いたところ、すっかり疲れ切って、足も痛くなりましたので、道端に座り休むことにしました。

その時、陳氏の後方から若い男性が背中に袋を背負ってやってきました。若い男性は一人で歩いている陳氏を見て、礼儀正しく「こんにちわ」と挨拶してきました。陳氏も、「こんにちわ。お兄さんはどちらへいらっしゃるのですか」と、挨拶を兼ねて軽く言葉を交わしてみますと、若い男性は商売の為にちょうど陳氏の実家がある褚家堂へ行くところだと分かりました。

誠実で頼もしい人のように見えたので、陳氏が、「少しお休みになられて、ご一緒に参りませんか？ 私は一人ですのでどうしても心細いのですが」

と、その若い男性に頼みますと、  
「はい、それでは喜んでお供しましょう」  
と快く答えてくれました。

二人はしばらく休んでから再び歩き始めました。ところが歩き始めて間もなく、後ろから急いで近づいてくる足音が聞こえてきました。

「はい！ 止まって！ 前に行くのは二姐（陳氏のこと）だろう？」

陳氏が足を止め、後ろを振り返ってみると、隣人で知り合いの男たち二人が声を掛けてきたのだと分かりました。

「本当に二姐だ！ なあ、早く戻ろぜ」

隣人の二人は陳氏のところへ駆け寄ると、彼女の腕をしっかり掴み、戻る方向へ連れて行こうとしました。

「そんなに慌てて何があったのですか？ 私は実家に帰るのです。なんで戻らなければならないのですか？」

陳氏はびっくりして聞きました。

「なんで知らない振りをしてるんだい？ お前さんのご主人が死んだんだぞ。お前さんがやったんじゃないのか？」

一方の隣人が言いました。陳氏は大変びっくりして、

「な、なにを言うのですか。主人が死んだと？ 嘘でしょう!? 昨日の晩、私を友人に売ってしまったと、私に言った後は、ずっと床にぐっすり寝込んでいたんですよ」  
「詳しいことはあとで話すことにしよう。今は早く帰ることだ」

「嫌です。私を騙しているでしょう？ 主人が私を売ったというので私は驚いて、一刻も早く実家に帰って、兎も角両親に相談しようと思っているのです」

「騙してなどいないよ。あんたの主人は本当に死んだんだ。知らないとでもいうのか？ とりあえず今すぐ帰って皆の前で本当の話を言うんだ！」

陳氏はついさっき一緒になったばかりの若い男性に、

「どうしよう、私はもうご一緒には行けません。お一人でいらっしゃって下さい」

と、男性に別れの言葉を告げていると、後から駆けつけてきた隣人が

「いや、この男も一緒にいたんだから連れて行こう」と言いました。若い男性はとんでもない成り行きにびっくりしました。

「いや、私はこの姐さんとたまたま出会って一緒に行くことになっただけで、私には何のことだか何もわかりません」

と若い男が言い、陳氏も

「確かにそうです。たまたま同じ道を行くので、一緒に行っていたらと安心だと思って知り合いになったばかりです」

と言いましたが、隣人は

「いや、それでも一緒に行って貰わなければいけない。一緒に戻ってもらって事情を話してもらおう」

と言いました。若い男性は

「私は全く無関係です。先に行かせてください」と頼みました。しかし、

「だめだ。二姐の旦那が殺害され、しかも、容疑の掛かっている二姐と一緒にいるからには、お前さんはもうこの場を離れることは許されないってことだ」

と、取り合ってもらえませんでした。若い男性は少し考えると、覚悟を決めた様子で、

「私は全く関わりのないことだ。潔白なことはすぐ

証明できるだろうから一緒に行っても構わない」

キッパリ言うと、隣人の男たち二人と、陳氏について戻り路を共に急ぎました。

再び一時間くらい掛けて劉貴の家の前に戻りました。家の周りは、人だまりができて大騒ぎになっています。陳氏は人の群をかき分けて家に入ってみますと、なんと、すでに息を引き取っている自分の亭主が血まみれの姿で床に横たえられ、その側に血がこびり着いた斧がそのままになっています。その光景に陳氏は驚きのあまり、「あっ」と叫ぶと、そのまま気を失ってしまいました。

大勢の人々は、ただ、わいわい、うろうろしているだけでどうにもできないでいるところへ、実家から戻ってきた劉貴の第一夫人の王氏と王氏のお父さんが転げこむようにして入ってきました。そして、王氏は劉貴の無惨な姿を目にするや「わっ」と泣き崩れてしまいました。

しばらく泣き続けていた王氏でしたが、陳氏が気を失って倒れている姿が目に入ると、立ち上がって陳氏の襟を捕まえ叫びました。

「お前はなんでここにいのよ！ どんなわけがあって夫を殺したの!? 十五貫のお金のためなのですか？

お金に目が眩んで、そのお金を掻っ攫って逃げたっているのですか？ お前などは神様のひどい罰に当てられればいいよ！」

陳氏は王氏のその叫び声で甦り、王氏が怒りに任せて怒鳴る声に泣ながら抗議しました。

「十五貫のお金は確かに旦那が持って帰りましたが、私は盗んではいません。旦那は昨日帰ってくると、そのお金を私に見せながら、『生活がどうにもならないからお前を売ってしまった。このお金はお前の身代金だ』とおっしゃいました。そして今日、私をその家につれて行くつもりだと言われたのです。私は怖くてどうしてよいか分からず、主人が眠ってから、実家に帰って相談しようと思いつき、昨日の夜に逃げ出したのです。昨夜は隣の朱おじいさんの家に泊めてもらい、朱おじいさんにいろいろ話して聞いて貰いました。でも、お金は一銭も取っていません。私が出た後、主人がどうして殺されたのかは全然存じません」

王氏は陳氏が話すのを聞いて、更に怒りを深くしました。

「まだそんな白々しいことを言ってるのですか？ あの十五貫は私の父が商売の手元として主人に渡した

ものです。お前の身代金だなどと、なんでそんな馬鹿馬鹿しい話を言ったりするもんですか！」

そして、王氏は陳氏と一緒に帰ってきた若い男性を指差して続けて言いました。

「この男、いったい誰です？ 主人が留守なのをいいことに、男を連れ込んで何をしてたの？ この家の暮らしが思わしくないから、我慢できなくなったのですか。十五貫のお金を盗んで、主人を殺して、この男とぐるになって逃げるつもりだったんじゃないんですか！」

王氏が言うのを聞いた周りの人々も皆、頷いて

「そうだ、その通りだ。奥さんのおっしゃる通りだ。おい、お前！ 二姐とぐるだろう！ お前が二姐に自分の主人を殺させたんだろう！」

と、口々に騒ぎ始めました。

若い男性は思っても見なかった展開にはじめて大変なことになったと気付き、強く手を振り弁解しました。

「みなさん、是非、私の言うことを聞いてください。私は崔と申し、生糸の商売をしているものです。今日生糸の掛売り金を受け取っての帰り道で、たまたま同じ褚家堂に行くこのお姐さんに会いました。女の一人歩きでは寂しいだろうと思って様子を見ていたら、このお姐さんが私に、道連れになってくれませんかとおっしゃったので、お供して一緒に行こうと思っただけです。このお姐さんと知り合いになったばかりですから詳しい事情は何も知りません」

周りの人々は彼の話を聞くと、荷物を調べようということになり、若い男性の背負う袋を開けて調べてみました。袋の中には、生糸の他にお金も入ってありましたが、そのお金を数えてみると、なんと丁度十五貫ではありませんか！

人々はそれを見て叫び始めました。

「十五貫だ。十五貫はここにあるのだ。これこそ動かぬ証拠じゃないか。貴様は二姐と一緒にここのご主人を殺して、お金を奪い、女を盗んで何処かへ逃げるつもりだったんじゃないか。どんな言い訳ができるんだ」

もう誰も、陳氏と若い男の弁解は一切聞き入れなくなりました。

奥さんの王氏と王氏のお父さんは、

「もう間違いなくこの二人は殺人犯だ。早く裁判所に送ろう」と決断を下し、人々は、二人を紐でしっかり縛り、臨安府まで送り出しました。

(続く)



「現金のことを正金ともいう」ことを皆さんはご存じであろうか。斯く言う私は、つい最近知った。「正金」を辞典で見ると、「①正貨。紙幣に対し、金銀貨幣をいう。②現金」と出ている。知るきっかけとなったのは今年の2月、桜木町で友人と待ち合わせたとき、早く着きすぎて時間を持て余したので近くを散策していた時のことだ。

弁天橋を渡り馬車道あたりをそぞろ歩いていると、「神奈川県立歴史博物館」の前に出た。石造りの3～4階建の重厚な建築物である。いつもは車で通りすぎるだけであったが、正面玄関に立つと説明板があるので何気なく読んでみると、何とここはその昔「横浜正金銀行本店」だったと書いてあったのだ。ここが近代史にその名を輝かせていた銀行の本店だったのか!! と、世の中には知らないことが沢山あるものだとついつい感心してしまった。家に帰り早速ネットで「横浜正金銀行」を調べてみた。そこで正金銀行の〈正金〉とは現金の意味だと知った次第である。

話は2007年に遡る。この年の7月私は大連に赴任したが、社宅からさほど離れていないところに中山広場があった。円形の広場の周囲にはヤマトホテル(現大連賓館)をはじめ、戦前からの石造りの建物が立ち並びレトロな景観を醸し出している。見られた方も多と思うが、その中に一際目を引くのが「旧横浜正金銀行大連支店」である。

建物には大きなドーム屋根がのっかり、夜ともなると緑色の光にライトアップされたその姿はため息の出るほどの美しさである。夏の夜は夕涼みがてら、ときおりここまで来たものである。銀行の名前だけは知っていたが、この建物を見たとき以来正金銀行のファンとなった。「アカシアの大連」を書いた芥川賞作家の清岡卓行の大連小景集にはこのあたりを次のように書いている。

《……車は中山広場の大きな円周の一部を廻っている。広場に面した十棟の建物は、薄緑のドームを三つ載せて古雅な中国銀行大連分局、すなわち昔の横浜正金銀行大連支店をはじめとしてすべて堂々としたものである。その銀行と広場をはさんで向かい合うのは米国人ネッサンス式の四階建てで薄い黄味のピンクの外



戦前の大連中山広場 正面奥の建物が旧横浜正金銀行大連支店(絵はがきから)



旧横浜正金銀行大連支店を見上げる

装の、豪華な大連賓館すなわち昔の大連ヤマトホテルである。》

さて、この銀行は今はない。ここで歴史を振り返ってみたい。同行は貿易金融・外国為替に特化した銀行であり、1879年に国立銀行条例に基づき設立された。当時は外国為替システムが未熟の時代であり、日本の不利益を軽減するため現金(正金)で貿易決済を行うことを主要業務とした。明治維新後急速に成長を遂げ、列強の仲間入りを目指す日本を国際金融面で支えた。そして後述するように海外に多くの支店網を形成した。日露戦争後、日本の支配地が拡大するにつれ日本円の流通地域も拡大し、朝鮮半島、樺太、台湾さらには満州国には内地の円が流通した。

商用等でこれらの地域を旅する際、横浜正金銀行の信用状を携行し各地の支店で両替できたようである。

このようになくなくてはならない銀行に成長する中で、関東大震災(1923年)と1929年の世界恐慌の波を被った昭和金融恐慌(1930年～1931年)では大きなダメージを受けた。

さらには第二次世界大戦で敗れたことにより同行はGHQにより日本の軍需に必要な国際通貨収集のための機関とみなされ、ついに1946年に解体という運命を辿った。時代の荒波に翻弄されながらも日本国のために必死に働き、最後は力尽きた感があるが、ある種の郷愁を感じるのには私だけではないと思う。1946年生まれの私にとっては、生まれた年に解体されたと思うとかすかな痛みさえ感じないではいられない。

同行は国内外に広い支店網を展開した。国内では、京都、神戸、長崎、門司、小樽等に、海外は中国に多くの店舗を設置した。北京、上海、大連、哈爾濱、奉天(瀋陽)、青島、天津、済南、漢口等である。またニューヨーク支店、シアトル支店、ハワイ支店、さらにはリヨン支店も置いた。これらのなかで見たことのある建物は、大連支店と上海支店である。昨年の夏ハルピンに旅行したが、知っていれば写真の一枚でも撮ってきたものと思うと残念である。

大連支店に話を戻すと、この印象的なデザインを考えたのは妻木頼黄(1859年～1916年)という人である。彼は同行では本店、北京支店、大連支店を設計している。北京支店の写真は見たことがないので知らないが本店と大連支店はなんとなく似ている感じがする。どちらもドームがのっかっているからかもしれない。

ドームの形で思い出すのは復元された東京駅のドーム屋根である。今年2月15日、BS5チャンネルで「東京駅100年の謎」という2時間番組を放映していた。内容は東京駅を設計した辰野金吾(1859年～1919年)の一生であり、日本の建築の黎明期に活躍し、日本近代建築の父ともいえる人の足跡を辿った番組であった。妻木は彼の後輩なのである。このような建築様式は先輩の影響を受けたのか、または当時の流行の先端かもしれないがマッチ箱をタテにしたような設計しかできない現代の建築家には彼らの爪の垢でも飲んでもらいたい。

最近、大阪に日本一高い「あべのハルカス」とか言うビルができたが、私には美しいとは思われない。このビルも100年と持たないであろう。1914年に完成した美しく壮大な東京駅は関東大震災にもびくともしなかったそうである。しかし第二次世界大戦で米軍機によ

る爆撃で大きな被害を受けながらも、当初3階建ての東京駅を2階建てに修復して使用していたのである。それが2012年10月1日に元の3階建てに復元されたことは誠に喜ばしいことである。すこし横道にそれるが、瀋陽駅を見られた方はお分かりになると思うがこの駅は辰野式と言われる、ドーム屋根の付いた赤レンガの駅である。東京駅によく似ている。それもそのはずで設計は辰野金吾の弟子の太田毅によるものである。東京駅の完成より4年早い1910年に竣工しているが、辰野の影響がよく出ているといえよう。

横浜正金銀行の話はこれで終わりではない。1946年に解体されたわけであるが、同行の業務を引き継いだ銀行がある。それは東京銀行である。

国は同年に株式会社東京銀行を設立し、業務を引き継がせた。その後1954年、外国為替銀行法に基づき日本で唯一の外国為替銀行になった。そして紆余曲折を経て1996年4月に三菱銀行と合併し、「東京三菱銀行」となった。さらに2006年には厳しい経営を余儀なくされていたUFJ銀行(2002年に三和銀行と東海銀行が合併した銀行)を救済合併し現在の「三菱東京UFJ銀行」となった。

最後に横浜正金銀行の流れを汲むともいえる「東京銀行」の行風を書いておきたい。同行は保守的な銀行業界にあって、リベラルな行風で有名であった。いくつか紹介するとまず女性を活用した。未だに日本は先進国にも拘わらず、経営職や管理職への女性登用が情けないことに諸外国に比べてかなり立ち遅れている。しかし、同行は当時でも女性管理職は何人もいて中には部長や本部長の職に就く人もいたという。当然ながら大卒女子学生の人気企業であった。男女雇用均等法の施行前のことであり大いに評価すべきことである。

上司に対しては「さん」づけで呼んだりして、マスコミで何度も取り上げていた記憶が私にはある。当時銀行員は白いワイシャツに紺か黒のスーツと相場が決まっていたが、ハイカラな東京銀行はカラーシャツを着こなしていたようだ。この様な行風はおそらく三菱銀行との合併によっていつの間にか雲散霧消したことは想像に難くない。合併を機に三菱の行風になじめない行員がたくさんこの合併した銀行から去ったという。しかしながら私としては横浜正金銀行の何パーセントでもその血が流れている同行に親しみを感じるし、エールを送りたい。



## 詩人尹世霖の童詩の世界②

尹世霖の童詩を聴く 金子總子

尹世霖さんに卒論の資料をお願いするとすぐにもお返事があり、出来る限りご協力下さるとのこと、折よく北京に帰省した尹世霖さんの教え子の呉振傑さんに託されて、少年少女向きの四冊の詩集と『小朋友朗誦詩』の朗誦の吹き込まれたカセットテープが尹世霖さんからの贈り物として届きました。

中国語の朗誦を聴くのは初めてですし、それも第一番目が「小蜡笔」第二番目は前回で紹介した「宝宝快睡觉」で幼い女の子の声でした。三番目の詩「山和孩子的对话」は男の子とおじいさんの声が朗誦しています。

### xiǎo là bǐ 小蜡笔

xiǎo là bǐ zhēn hǎo kàn,  
小蜡笔，真好看，

hóng huáng hēi bái lǜ,  
红、黄、黑、白、绿、

zǐ hè chéng qīng lán.  
紫、褐、橙、青、蓝。

hóng bǐ huà tài yáng yīgè yuánquān quān.  
红笔画太阳，一个圆圈圈。

lán bǐ huà xiǎo hé sān tiáo wānwān xiàn.  
蓝笔画小河，三条弯弯路。

huáng bǐ huà gè xiǎo piànpiàn nà shì xiǎo fān chuán.  
黄笔画个小小片片，那是小帆船。

lǜ bǐ huà gè dà sān jiǎo nà shì yī zuò shān.  
绿笔画个大三角，那是一座山。

gè zhǒng là bǐ yī qí huà nà shì zán men yòu ér yuán.  
各种蜡笔一齐画，那是咱们幼儿园。

(1981.8.22)

### 【訳】 クレヨンさん

クレヨンさん まあ きれい！

赤 黄 黒 白 緑と茶

紫 橙 青に藍

赤いクレヨンで お日さまを かいた

お丸をひとつ まんまるく かいた

藍色のクレヨンで 小川を かいた

三本の線を くねくねと かいた

黄色いクレヨンで

小さいかけらをいくつも かいた

それは 小さな 帆かけ舟

緑のクレヨンで 三角をかいた  
それは 大きな お山です  
クレヨン全部で 一度にかいた  
それは 私たちみんなの 幼稚園

### shān hé hái zǐ de duì huà 山和孩子的对话

shān yé ye nín zhēn gāo,  
山爷爷，您真高，

bái yún cái dào nín bàn yāo.  
白云才到您半腰。

bù hái zǐ zhǐ yào nǐ dēng shàng shān dǐng,  
不，孩子，只要你登上山顶，

jiù bǐ wǒ hái gāo.  
就比我还高。

shān yé ye nín zhēn měi,  
山爷爷，您真美，

lǜ shù hóng huā bǎ nín huán rào.  
绿树，红花把您环绕。

bù hái zǐ nǐ de shuāng shǒu hé zhì huì,  
不，孩子，你的双手和智慧，

néng bǎ zuì měi de shì jiè chuàng zào  
能把最美的世界创造

(1983.4.2)

### 【訳】 山と子どもがお話ししてる

山おじいちゃま あなたはなんと背が高い  
白い雲が

やつとお腰のあたりにかかっています

いいや おまえ 登っておいで頂に

わしより ずっと高くなる

山おじいちゃま あなたはなんと美しい

緑の木々 赤い花が

あなたのまわりをめぐっています

いいや おまえ おまえのその手と賢さが

最も美しい世界を 創りだせるのだ。



『小朋友朗誦詩』の収録されているカセット





十和田方面から国道45号線沿いに下田町に向かう途中に、青々とした平野に茅葺き屋根の建物が一望でき、歴史ドラマを見たような気がします。(昔の時代に戻ったような感じがします。)これは移築された六戸町文化財の「旧苔米地家住宅」です。

去る4月27日から、この公開が始まりました。六戸町教育委員会社会教育課が管理しています。開館以来、私はこの住宅で三日間受付をしました。予想以上に来館者が多くて、この住宅で皆さんと色々話し合うことができ、とても楽しかったです。

来館者の方々から「この建物はいつ頃のものですか」と聞かれて、私はパンフレットの通り自信満々に「江戸時代の後半です」と答えていました。でも、

「何年前ですか」と聞かれると、今度はあやふやな答えしかできません。事前に私もこの住宅のパンフレットなどを読みましたが、説明できるほどの知識はまだないと思います。日本の歴史について自分が詳しくなれば、正確に説明できると思います。これから日本史も勉強しなければと思いました。

多くの熟年者も見学に来ました。皆さんが、見ながら、「なつかすーなー、なつかすーなー」との話しぶりが印象的でした。たぶん、「懐かしい、懐かしい」と話したのでしょう。この言葉自体もこの旧住宅にふさわしい無形文化財(地元の言葉)と感じました。しかし、この地元の言葉も簡単に理解できるわけなく、相手がいっぱい話すと、今度は私が聞き取れなくなります。でも、こちらで生活する以上、地元の言葉も身につけたほうがいいと思いました。「みなさん、私のこの考え、どうだべ」。

来館者の中に中国文化にすごく詳しい方がいました。八戸からの親子でしたが、この住宅でいつの間にか、中国の歴史などについて色々話し合いました。秦の始皇帝とか、三国志とか様々なことで、なかなか話

が尽きませんでした。

私も自国の歴史が好きですが、この親子の方が中国の歴史とかをすごくよく知っていて、とても感心しました。連休が終わって、この親子がわざわざ文化ホールに訪ねて来て、また中国の歴史とかについてかなりの時間で話し合いました。分かれる時に、また次に話し合う日までを約束しました。このように「旧苔米地家住宅」を通して交流ができたのはとても有意義だったと思います。



六戸町文化財の「旧苔米地家住宅」  
とまべちけ

「鄧さん頑張る・日本探検記」は、2004年(平成16年)から2006年(平成18年)の2年間、青森県六戸町の国際交流員として国際友好活動にかかわった、中国山西省太原市に住む一中国人、鄧仁有さんの日本体験です。文章は原文のままです。

**‘わんりい’は、毎年4月から新年度になります。ご継続と新年度の会費の納入をよろしくお願い致します。また、新入会を歓迎します。**

**年会費：1500円 入会金なし**  
**郵便局振替口座：00180-5-134011 ‘わんりい’**

‘わんりい’の名は、‘万里’の中国読みから付けられました。文化は万里につながるの想いからです。

主としてアジア各地から日本に見えている方々と協力し、講座、研究会、鑑賞会、展覧会等を開催し文化的交流を通して国や民族を超えた友好を深めたいと願っています。入会されると

- ①年10回おたよりをお送りします。
- ②‘わんりい’の活動の全てに参加できます。

問合せ：042-734-5100(事務局)

◆インターネット会員の制度もあります。アドレスを頂いた方に、毎月、カラーの美しい‘わんりい’をPDFファイルでお送りします。こちらは無料です。

# 私とシルクロード

陽光新聞社・顧問

塩澤宏宣

私にとってシルクロードは、ロマンの塊でした。1980年に始まったNHKのテレビ番組の「シルクロード」は、石坂浩二のナレーションと喜多郎のテーマ曲が今でも脳裏に残っています。また、久保田早紀の「異邦人」と谷村新司の「昴」も、私にとってはシルクロードにつながっています。歌のうまい仲間を誘ってカラオケバーで歌ってもらった思い出もあります。

古い話で恐縮ですが、今からちょうど8年前、西安交通大学創立100年祭に招かれました。有名な上海交通大学の兄弟校です。毛沢東が建国した際、上海は海岸に近く、敵に占領される危険があるということで

内陸部に創設したのが西安交通大学です。中国の宇宙工学が集約されているそうです。そのせいか、ひな壇には軍服を着た人ばかりでした。

西安では秦の始皇帝陵の兵馬俑を見学しました。入り口を入ると1000体を越える古代人が私を迎えてくれたような“感激”を味わったものでした。圧倒された記憶があります。ほぼ等身大の像はひとりとして同じものがなく、色々な民族から兵士を集めていた当時の様子が分ります。発掘・修復は今でも続いているようですが、とにかくすごい。日本へ仏教が伝わる(538年ごろ)より750年も前にこんなにすごい施設ができていたのです。また、その途中で楊貴妃が使ったという温泉にも立ち寄りました。国共合作時に蒋介石の隠れ家も見ましたが、兵馬俑の迫力の前では関心の枠外でした。

この旅は西安→新疆ウィグルのウルムチへ続き、敦煌へ戻り、北京へ帰る約1週間でした。西安からウルムチの眼下には広漠とした台地が続きました。ゴビ砂漠です。

普通の砂漠とはまったく違う表情、太古は海底ではなかったかと思われる地表が延々と続いていました。目線を水平にすると雪を頂いたアルタイ山脈と天山山



秦の始皇帝陵・1000体を越える古代人を背にした筆者



ゴビ砂漠にぽつんと残る万里の長城の西の果ての痕跡・烽火台

脈がくっきり見えました。ウルムチに着いたのは夜でした。次の日はバスで市内観光。といっても市内のいたるところに大砲を積んだ車両基地があり、一般道路に面しているのにはビックリ。さすが国境の町、という臨場感があり、優雅な観光とはなりませんでした。後で聞くとウルムチ周辺は石油基地でもあるので警戒は厳しいとのこと。

翌日は敦煌へ戻りました。機上から見る敦煌は砂漠の中にぽつんと置かれた緑のオアシス。時は4月、“黄砂”の真っ只中でした。中国の友人たちはみんな一緒に“なんでこんな時期に敦煌へ行くのか”といぶかった理由が分りました。

太陽がどこにあるか分からない日とギラギラした陽光で肌がピリピリする日が混在します。有名な莫高窟に行きました。ヨットパーカーを着ていましたが、バラバラ音がするのでよ〜く見ると大粒の砂でした。その日ホテルに帰って机の上に置いてあった黒皮の名刺入れを見ると「灰色」に見えたので、指でそっとなぞってみると、なんと粉のような微粒の砂でした。聞きしに勝る自然環境にタダタダびっくり。翌日市内を見渡すと皆マスクを付けていました。

駱駝に乗って砂漠見物。万里の長城の最西端の遺跡



も見ました。玉門関にも行きました。井上靖作の「敦煌」を映画化したときのロケ地とお城のセットも見学しました。この映画については現役時代に協力させられて、苦労したので映画セットの現場に立ち、感慨にふけりました。お城のセットはその後にも活用され映画・テレビ番組を300本ぐらい撮影に利用されているそうです。この話を聞き、少しは役に立ったのかと安堵しましたが……

この旅行の目的は中国政府の長年の計画である「西部大開発プロジェクト」を推進するためのアドバイスでした。西安や敦煌の役人と意見交換会に参加しました。地元テレビ局のインタビューもありました。そうした会合での私の意見を記してみます。

「アメリカの西部大開発はなぜ成功したか。それは金が発見されたからです」「では中国で金に変わるものは何か。それはワインではないか」

敦煌周辺のオアシスは葡萄の産地として有名です。というより葡萄しか作れないといったほうがいいと思いますが。葡萄の枝を砂地に埋めて厳冬を過すのですが、私が訪問した時期は、ちょうどその枝を棚に這わせる作業をしていました。物産店には干し葡萄などの乾燥果物しか売っていません。一袋10元です。干し葡萄よりワインの方が「付加価値は高い」という、イロハの「イ」ですが、これが地元では評判になりました。敦煌ブランドのワインがたくさん出荷されるようになったと聞いています。

というようなわけで、私の憧れの地であるシルクロードの「ほんの一片」を体験したわけです。その印象をひと言でいえば「あんな広漠とした大自然の中で、よくぞ文化が栄えたな～」です。しかし最近、そこにはソグド人という、すごい民族の活躍があったということを知りました。シルクロードと唐帝国：森安孝夫著より抜粋して、以下にそのソグド人の歴史を紹介します。



シルクロードの商業で活躍した集団はソグド人である。最初は商人として中国やユーラシア東部の遊牧国家において活躍したが、やがて政治・外交・軍事・文化・宗教にまで重要な地位を占めることになる。

ソグド人の故郷はソグディアナ(ソグド人の土地)である。ユーラシア大陸のほぼ真ん中、パミール高原から西北に流れ、アラル海に注ぐアム河とシル河に囲ま

れた地域・農牧接壤地帯(農業と牧畜を兼業)である。

中心に大都市サマルカンドがある。現在のウズベキスタンに当る。ペルシャに向かうことも、東方へ向かえば天山山脈北嶺からアルタイ山脈を越えてモンゴルへ。西方へはウラル山脈南部から南ロシア。中国へはフェルガーナを通り、パミールを越えて東トルキスタンに入る要害地である。

ソグドの最初の発展は、紀元前6～5世紀。次の発展は5～6世紀で、灌漑路や遊牧民・砂を防ぐ長城が整備されていた。乾燥地のオアシスの農耕地や都市が増大し、人口も増加すると限界が来る。人口過剰になると、他の都市や他地域との交流する商業に活路を見出す人口が増える。他地域で仲間が定着するとそこにソグド人コロニー(植民地・居留地)が出現する。

ソグディアナはユーラシアのど真ん中に位置し、東の中国、東南のインド、西南のペルシャ～地中海東部、西北のロシア～東ヨーロッパ、東北のセミレチェ～ジュンガル～モンゴルと世界に通じる天然の交通路のシルクロード網の心臓部だ。ソグド商人が、国際的な「シルクロード商人」へと発展したのは自然のことといえる。

ソグド人コロニーは西の黒海周辺に達し、東はジュンガルからモンゴル・満州へ。東トルキスタンのクチャ・ホータン・トルファン・ロプノール地方から河西回廊の沙州(敦煌)・涼州(武威・姑蔵)、更に北中国のほとんどの大都市にまで広がった。

やがて8世紀中ごろのイスラム朝のもとでソグド文化の独自性は失われ、ペルシャ文化に吸収されてしまう。ソグド社会では自由人と非自由人が峻別されていた。身分は自由人・商人・職人・農民・奴隷・捕虜・人質などである。自由人は土地所有者で武装していた。大邸宅には工房が付属し、職人がいた。



国境を越え、国籍を越えて「利を求める」集団を華僑・印僑・ユダヤというようです。私の姉の主人は香港生まれでした。その義理の兄の教えです。しかし、シルクロードで活躍したソグド人こそ華僑や印僑の源流ではないかと考えるようになりました。狭い島国で縄文時代から延々と生き延びてきた私たち日本人とは全く異なった世界を築き、生きたソグド人から学ぶことは多いと思いますが如何でしょうか。

3月後半、四姑娘山では未だ時々雪が降り朝方は凍り付きますが、女王谷の標高2000m位の谷間の村里では楊の新緑が鮮やかになり多くの花が咲き始めて本格的な春になり、畑起こしが始まります。今では小型トラクターが畑起こしで活躍していますが、昔ながらの鋤を牛やヤクに引かせる姿も残っています。また、その時に土から掘り出される虫を目当てに、カササギが集まって来ます。この春先に村里で咲く花々を写真でご紹介します。



ります。今では小型トラクターが畑起こしで活躍していますが、昔ながらの鋤を牛やヤクに引かせる姿も残っています。また、その時に土から掘り出される虫を目当てに、カササギが集まって来ます。この春先に村里で咲く花々を写真でご紹介します。



**ホトケノザ**：シソ科 オドリコソウ属。春節の頃から、陽当たりの良い畑で見掛けるようになります。



**ウメ**：バラ科 サクラ属。栽培種のウメは春節の頃から咲き始めますが、野生種は3月中旬に満開になります。初夏に熟する実は生食されます。



**モモ**：バラ科 サクラ属。3月に入ってから咲きます。初夏に熟する実は小さく固めですが、地元では昔から人気の高い果物です。



**ナシ**：バラ科ナシ属。在来種は西洋梨で、3月後半に至る所で満開になります(一部の地方では品種改良された中国梨の花が満開になります)。秋に瓢箪のような実が熟しますが、最近は嗜好が変わって地元でも人气が落ち、収穫されないまま放置される実が少なくありません。

**アブラナ**：アブラナ科アブラナ属。栽培種のアブラナは春節の頃から咲き始め、3月中旬に満開になります。花が咲く前に野菜として出荷される物と、菜種として収穫される物が半々です。







**エンゴサク**：ケマンソウ科キケマン属。3月に入ってから青や黄色の花を見掛けるようになります。

**スミレ**：スミレ科スミレ属。3月に咲くのはこの紫色の種だけです。



**リンゴ**：バラ科 リンゴ属。3月末になると至る所で咲きます。写真の種名ははっきりしませんが、セイヨウリンゴの花だと思われます。



**フキタンポポ**：キク科フキタンポポ属。早い年には1月末から咲き始め、3月末まで咲き残っています。



**エイザンスミレの近縁種**：日本ではスミレ科エイザンスミレ属、当地ではスミレ属裂葉堇菜“*Viola dissecta*”。3月末になると白っぽい花が咲き始めます。



**ハシドイ**：モクセイ科ハシドイ属。畔や道路脇で多く見掛けます。春節の頃から新芽が出て、初夏の頃まで花を咲かせます。



**クロモジ**：クスノキ科クロモジ属。3月に入ってから咲きます。樹高6m位になります。

## 絵本・隣人（隣のおばあさん）

佐藤紀子（張 怡申）

2012年1月に、私は町田中央図書館展示コーナーで「日本での生活」をテーマにし、絵の展示をしました。

展示場には、ショーケースがあります。展示日の三日前に、ショーケースに「隣のおばあさん」の話を入れることにしました。おばあさんの話を入れなければならないと思ったからです。

日本に来て二年目頃、庭の木が隣のおばあさんの庭に伸びていたところ、おばあさんに「この木は元気ですね」と言われました。私は木の事に気づき、木を剪定しました。それからおばあさんとの花情報交換が始まりました。

淡々とした隣人同士の付き合いが何年か続いてから、私は急に腎不全に罹りました。私は家に居る時間が多くなりました。毎朝、窓から隣家のおばあさんが庭で野菜に水をかける姿を見ます。それが済むとおばあさんが度々私の家の窓辺にやって来て、私を必死に励ましてくれました。時折美味しい物もよく頂きました。

ついに、私は救急車に運ばれて入院しました。ある日、病室におばあさんが見舞いに来ました。「紀子さんの顔が見えなかったから、紀子さんの親戚に聞いた」とおばあさんが言いました。私はおばあさんから筆ペンで「お見舞い」と、綺麗に書いてある封筒を頂きました。

それから、私は三年間入退院生活を繰り返しました。三年間の間、私は何度も「もう生きる道がない」と口に出したことがあります。それを聞いて私の娘は「お母さん考えて、私たちが知らない国日本で、もし、隣のおばあさんが居なかったら私たちどうなった？」と言われました。

娘に言われた通り、私は今でもおばあさんの事を考えております。おばあさんが私に感動を残してくれました。おばあさんの暖かい気持ちを、展示場を通してたくさんの人に伝えようと決意しました。

「隣人」は私の初めての絵本です。未熟ですが「隣人」以来、絵本創作を続けています。



早上，从我家能看到邻居的老奶奶给种在院子里的茄子，西红柿苗浇水，上肥。

邻居的老奶奶每天都比太阳起得早。

私の家から隣のおばあさんが早朝、お庭に植えられたナス、トマトの苗に肥料を撒いたり、水をかけたりする姿が見えます。隣のおばあさんは毎日太陽より早起きです。



茄子喝着甜甜的水，吃着足足的肥，长得肥肥大。

ナスはおいしい。水を飲んで、栄養たっぷりの肥料を食って、伸びていく。





西红柿越长越可爱。

トマトも可愛らしく成長していきます。



我去中国工作时，老奶奶为我饯行。

私が中国勤務に行くときには、お餞別も頂きました。



我从窗口收到了收获物。多好吃。

窓から収穫物を頂きました。「おいしいだよ！」



我在中国工作的学校里讲我和老奶奶的故事。

勤務先の学校で、隣のおばあさんとのエピソードを話しました。



我和老奶奶成了好朋友。我们互相讲起了对人难言的心事。

仲良しになり、人に言えないような話も、お互いにしゃべりました。

我回到日本时，老奶奶却去了天国。我想，“在这个生疏的国家里，如果没有老奶奶的照顾……”一想到这些，我就想流泪。

我把从中国带来的礼物，摆在了佛坛上。



日本へ帰ってきたら、おばあさんはもう天国に行っていました。

知らない国での私の生活に、おばあさんからのお世話が無かったらと思うと涙が出そうになります。

おばあさんに持ってきた中国のお土産は、仏壇に供えました。



# 小籠包を一緒に作って楽しもう!

於:まちだ中央公民館・調理室

2014年4月8日(火) 参加者:15名

小さな肉まんのような小籠包。うっかり蒸したて小籠包を口に入れて、迸り出る熱々のスープで口の中を火傷しそうになります。

秩父の山西省友好記念館・神怡館の料理講座で、何媛媛さんがこの小籠包の作り方を指導する事になりました。これまで、神怡館の料理講座は‘わんりい’の会がレシピ提供などで協力してきました。料理の会は数え切れない回数というのに、なんと、小籠包のレシピがありません。ということで、レシピ作りを兼ねて‘わんりい’の皆さんが交流する機会にしました。神怡館館長の神林さんと留学生の劉嘉琦さんをお客さんに、全15名が何媛媛さんを囲んで、山西省の家庭料理3種を加え、賑やかに小籠包作りを楽しみました。(報告:田井)



餡を作る何媛媛さん(左)と神林さん(真ん中)

1. 粉は、強力粉と薄力粉同量を混ぜ合わせ、粉の重さの約60%量の温湯(熱湯ではない)を加えよく捏ねて20分ほど寝かせます。その間に、中に詰める肉餡を作ります。
2. 肉餡の肉の分量は、やはり、粉の重さの60%程度。ひき肉でもよいし、脂身の多い豚こまを叩いてミンチにしてもよいでしょう。
3. 油に花山椒を入れて熱し、花山椒を取り除いた中華なべ(冷ます)に、生姜、花葱(みじん切りの葱)、豚肉、刻み葱、調味料を適宜加え、水も少しずつ相当量を加えながらひたすら同方向にぐるぐる、ぐるぐる…。最後に顆粒のゼラチンを加えます。あ、そうなのです。皮からほとばしる肉汁の秘密です。顆粒のゼラチンがしっかり水分を抱え込むので、蒸しあがった小籠包から肉汁がぽとぽとたれ落ちる程なのです。出来上がった餡ダネを冷蔵庫で寝かせて餡を落ち着かせます。



寝かせておいた皮生地を棒状に延ばし、小口に切って円形に延ばす。右は何さんのデモ。小口に切った皮生地を押し潰し、左手の親指と人差し指で皮の端をつまみ、手前に皮生地を回し送りながら、麺棒で延ばしてゆく。



美味しそうに蒸しあがった小籠包(写真上)、と、出来上がった各種の料理を並べて、さあ、食べよう!(写真下)



## 誰でも出来る、美味しいパンの会

於:まちだ中央公民館・調理室

2014年4月14日(火) 参加者:10名

3月末のある日、アルジェリア留学生のサミラさんから、「杣野さんにパン作りを教えて貰いたいのですけれど…」というローマ字書きのメールが届いた。

そういえば、1月頃、サミラさんからパンを作りたいとの希望を貰っていた。まちだ中央公民館・調理室の空きを検索すると、幸い4月14日の午後がたまたま空いていた。サミラさんも講師の杣野さんの都合もOKとのことで、「わんりい」4月号での呼びかけには間に合わなかったが、声を掛けられる範囲の内輪の催しとして急遽、開催する事にした。

誰でも、特別の道具がなくとも、気軽に美味しく焼ける基本的なパンとして、フランスパン、バターロールに加えて、パンの会のティータイムのお楽しみに2種類のピザを焼いた。

成型したフランスパンの生地をハサミで斜めに切込みを入れるた。焼きあがった姿はどこかのおしゃれなパン屋のフランスパンに変身!した。皆で「りっぱな手土産になる」と話し合った。桜海老をふんだんにのせて焼いたピザは、とても香ばしくて美味しかった。(報告:田井)



杣野さんが粉を捏ねる手元を真剣に見詰める参加者



パンを延ばすのは餃子の皮と勝手が違う? とはいえ、流石の手つきは郁唯先生



ピザは焼くばかり  
杣野さんとサミラさん



パンの会のお楽しみは最後のティータイム

皮にハサミで切り込みを入れたオシャレなフランスパン



●自家製フランスパンを作ってご覧になりますか?一般的に、パン作りはバターロールから始まるかと思いませんか?

フランスパンは、実は、用意するものも粉と塩とイーストがあれば直ぐ取り掛かれる、とてもシンプルなパンで、丁度日本のご飯のように、副菜の味を引き立てるパンなのですね。試しに焼いてみました。とても美味しく焼けました。ピザの生地もこの配分で大丈夫だそうです。

### 【フランスパンの配合】

|           |               |
|-----------|---------------|
| 強力粉の重さ    | ……………100%として  |
| 食 塩       | ……………2%       |
| イースト(ドライ) | ……………1%       |
| 水         | ……………62%～ 65% |

最近日本のテレビでスリランカのことをよく取り上げられているが、そのような番組の中で必ず紹介されるのが故ジャヤワルダナ元大統領(1906～1996)と日本との関わりである。

ジャヤワルダナ元大統領と言っても日本ではあまり知る人は多くないが、しかし、第二次世界大戦の戦後処理に関するサンフランシスコ講和会議で唯一日本を弁護し、日本に対する賠償を放棄したスリランカの政治家として忘れることが出来ない人物である。

スリランカがなぜ日本から賠償を求めるのか、不思議に思われたかもしれない。1942年(昭和17年)日本軍が英国領であったセイロン(現在のスリランカ)のコロンボとトリンコマリーを空爆した。そのためにセイロンは講和会議に出席していたわけである。

1951年(昭和26年)に開催された日本の戦争責任を問うサンフランシスコ講和会議で、ソ連(当時)を中心とした日本4分割案を断念させてくれたのがセイロンの第二代大統領で(後の1978年にスリランカの初代大統領になった)ジュニウス・リチャード・ジャヤワルダナ氏であった。

彼はセイロン代表として(当時蔵相)会議に出席し、対日賠償請求権を放棄することを明らかにし、「憎悪は憎悪によって止むことはなく、愛によって止む」と仏陀の言葉を引用しながら、日本を国際社会の一員として受け入れるように訴える演説をした。

日本4分割案では北海道と東北をソ連、関東と中部の一部を米国、四国を中華民国、中国と九州を英国がそれぞれ占領地とし、東京は米国、英国、中華民国、ソ連が共同管理をしようということが計画されていた。

ジャヤワルダナ氏がサンフランシスコ講和会議で行った演説は、日本に厳しい制裁を求めている戦勝国を動かし、日本が再び独立国になるように導き、今日の高度経済成長につながっていった。

彼が行った演説とは一体どんなものだったのだろうか。15分に及ぶ演説が残されているが、その一部をかいつまんで平易な言葉にして紹介したい。

「何故アジアの諸国民は、日本は自由であるべきだと切望するのでしょうか。それは、我々と日本は長年のかかわり合いがあり、また、アジア諸国の中で、日本だけが強力な自由であり、日本を保護者であると同時に友人として仰いでいた時に、我々は日本に対して高い尊敬の念を抱いていたためであります。

私は、アジアのための共存共栄のローガンが、ビルマ、インドおよびインドネシアの諸国民にアピールし、アジア諸国の指導者達が此の理念によって、彼らの愛する国々が独立できるという希望を持つことが出来、日本の仲間入りをしたという事実を思い起こします」

「セイロンは、幸いにも、日本による侵略を受けませんでした。空襲や東南アジア軍の指揮下の膨大な軍隊の駐屯、及び、我々が連合国



鎌倉高德院にある記念碑



セイロン(現在のスリランカ)を爆撃した日本軍を英国軍が撃ち落したが、彼らを悼む慰霊碑がコロンボ・カナッテ墓地にある。





故ジャヤワルダナ元大統領  
(ウィキペディアより転載)

に供給する天然ゴムの唯一の生産国だった時、セイロンの主要産物の一つであるゴムが、日本による枯渇的な樹液採取で蒙った損害に対して、セイロンはその賠償を日本に請求する資格があります」

「しかし、我国はその賠償を請求しようとは思いません。何故ならば我々は、アジアの無数の人々を高貴な存在ならしめた、あの偉大な教師の言葉すなわち『憎悪は憎悪によって消え去るものではなく、ただ愛によってのみ消え去るものである』という言葉に信ずるからであります。それは偉大な教師であり、仏教の創始者である仏陀のメッセージであります」

「故に、日本がこれまで通り自由であり、日本が復興に向かうことに何ら制限を課さず、日本が外部からの侵略に対して、自らの軍事的防衛力を組織するようにすること、そして自国を守る力を持てるようになるま

では、日本防衛のために友好諸国家の援助を要請すると共に、日本経済復興を損なういかなる賠償も、日本から取り立てないことを宣言します」

時の吉田首相はこれに対してジャヤワルダナ氏に感謝の手紙を送っている。そして、ジャヤワルダナ氏は1979年(昭和54)に国賓として来日し、昭和天皇に謁見した。ジャヤワルダナ氏は1996年11月1日90歳で永眠した。彼の遺志に基づいて彼の死後の角膜が臓器提供された。右目はスリランカ人に、もう一方の左目は日本人に提供された。「(死後も)スリランカと日本の未来を見たい」からだったと言われている。

ジャヤワルダナ演説がなければ、日本はどうなっていたか。今日のような日本はなかったはずである。日本はその期待に応えて、敗戦後の復興から見事に経済的な発展を遂げ、戦後68年間一貫して平和国家として世界に貢献してきた。

(文中の故ジャヤワルダナ元大統領の演説は、  
[http://hinode.8718.jp/san\\_francisco\\_convention\\_sri\\_lanka.html](http://hinode.8718.jp/san_francisco_convention_sri_lanka.html)による)

スリランカ・ケラニヤ便りは今回で終わりたいと思う。1年間お読みいただき、ありがとうございました。

## ぼくが見て感じたスリランカ紹介 76

### スリランカの鉄道 その1

赤岡健一郎 (日本スリランカ武道協会  
日本スリランカ文化交流協会)

今回はスリランカの鉄道について話そうと思います。

1825年に英国でスティーブンソンによって考案された、蒸気機関を利用して走る鉄道が誕生しました。それから僅か33年後の1858年には、英国植民地政府によってスリランカで最初の鉄道が敷設されました。

アメリカでは1830年に蒸気機関による鉄道が営業開始、日本では1872年になって新橋～横浜間が開業したのに比べても、かなり早い時期からスリランカの鉄道の歴史が始まっていた事が判ります。当初は主に中部高原地帯のキャンディやヌワラエリアからの茶葉やスパイス、農産物の輸送と、コロンボ在留の外国人達が避暑地への足として利用されていました。

2006年6月の‘わんりい’誌にキャンディロー

ドの蒸気機関ロードローラーという文章を載せています。この時には道路を作る話として記載されていますが、鉄道を敷設する際にも同じような苦労があった事でしょう。

その後、コロンボのフォート駅を起点にスリランカの主要都市へ放射状に路線が伸び、現在では総延長が1499kmになっています。放射状に路線が伸びましたが、路線の最先端に位置する都市間を横に繋ぐ路線が発展しなかったために、観光客にとっては使い勝手が悪い物になっている事が残念なところですが、それでも最近では、コロンボ～キャンディ間には、オリエント急行の様な車両を使った特別編成の観光列車を走らせたりして、観光客誘致に力を入れ始めて来ています。

現在の鉄道の利用状況は通勤・通学者が中心になっています。茶葉や農産物の輸送はトラック輸送が

主に変わってしまいました。早起きが得意な方は、朝のお散歩がてらフォート駅に7時～8時頃に行ってみて下さい。おおよそ5分おきに各地からデッキまで人を満載にした通勤・通学列車が到着します。普段は嫌になる程ノンビリと歩くスリランカ人達が、この時ばかりは闘争心を燃やします。多くの人が跨線橋を昇り降りして出口に向かうという、悠長な事はしません。プラットホームから線路に飛び降りて出口に向かって一目散に進みます。何故かと言うと、通勤・通学の難行はフォート駅で終わる訳ではないからです。

フォート駅のすぐ近くにあるバスターミナルからコロンボ市内各地へバスに乗り換えて、更に目的地に向かうからです。誰よりも早くバスに乗って座席を確保するために、スリランカの人には珍しく急ぎ足になります。

さて、朝方の喧騒が終わるとフォート駅は急に静かになります。鉄道ダイヤは朝夕の通勤・通学時間を中心に組まれていて、日中はキャンディやアヌラダプラ、ゴールといった主要都市であり観光の中心になる都市に向かう列車ですら3～4本程度しかありません。1時間に数本というわけではありません、朝夕を除くとほとんど列車が走っていないと言う事です。他に交通手段の無い地方の路線では午後の学生の帰宅時間に併せて通学列車を走らせています。

2～3年前までは鉄道事業はスリランカ国鉄の独占事業でしたが、最近になって民間企業が、国鉄のレールを利用するものの独自の動力車・客車を使って鉄道事業に参入してきています。これに対抗してスリランカ国鉄も新型車両を投入するなど近代化に向かって漸く動き始めました。

鉄道マニア向けのマニユアックな話になりますが、現在ではスリランカ鉄道のレール幅は広軌道(1676mm)に統一されています。因みに日本の鉄道は、新幹線を除いて狭軌道(1067mm)でかなり狭いレール幅が採用されています。

かつては、スリランカでは狭軌道よりも更に狭いレール幅が762mmという軽便鉄道規格が採用されていた路線もありました。驚いたことに、この軽便鉄道規格のレールと、1949年製造のドイツ製

動力車と客車が、前回のコロンボ国立博物館とその界隈のなかで紹介したヴィハーラ・マハー・デーヴィ公園の中に、900mの区間に渡ってレールを敷設し、ポイント、信号などの諸設備も当時のままに動態保存されています。

動態保存と言うのは、町田の元第2庁舎や新橋駅前に固定展示している様な形態ではなく、実際に線路上を走っている姿を見せる展示方法です。

僕が駐在していた時には、家がヴィハーラ・マハー・デーヴィ公園の直ぐそばだったので土曜・日曜日に公園に散歩に行くと、子供達を乗せて走っている姿を見かけました。当時はこの鉄道が、それほど貴重な物だとは知らなかったのも、公園の中にある色々な遊戯施設と同じに考えていて、乗車しなかった事が悔やまれます。

最近聞いた話では、ここ何年かは動力車が故障し、部品が入手できないためにホームでの展示しか行われていないようです。どんなに古い車の故障でも、部品を手作りしたり、他メーカーの部品に手を加えて流用したりして、故障を直してしまうスリランカ人の事ですから、近いうちに走れるようになる事でしょう。

(続く)

#### 使用済み古切手と書き損じの葉書でご支援を！

日本スリランカ文化交流協会では、スリランカへの教育支援の為、古切手と書き損じ葉書を集めています。古切手は周囲を1cmほどを残して切り取り、おついで折に田井にお渡し下さい。

#### 中国の笑い話 15(「365夜笑話」より)

##### 第36話：私より一回多い

父親が息子に小言を言った。

「お前は、毎日毎日出かけては、芝居見物をしている。どうして家にいて、読書したりしないのだ。私だって、芝居はよく観るが、お前よりは少ないぞ。何たって、10回のうち9回は、芝居小屋でお前を見かけている。」

息子は急いで答えた。

「それじゃ、あなたは私より1回多く芝居を観ていますね」

(有為楠 訳)



彼は昨日アメリカに行った。どう訳しますか？ 仮にあなたが中学一年で初めて英語に遭遇したと仮定してください。Goの過去形もgoedではないけどなんかWで始まるウイカウエみたいな感じだったかな？ ぐらいのレベルを想定ください。

まず95%以上の日本人は黙ってしまいます。ミスると恥ずかしいのです。英語を母国語としない外人ならHe go America yesterday ぐらい平気で言いますよ。これで充分通じるではないですか？ 勿論goをwentと過去にされたとしても前置詞のtoが抜けてますが。

We are in Japan. 日本語で喋るところを英語で話してやるよ？ ぐらいの気概が肝心です。

50年以上英語および他の外国語を使い仕事をしてきた者ですが、現在は現役一線より退き、ビジネス英語や貿易実務の講師をしております。私も全くの独学で勉強してきたので、英語習得につき何かご参考になるかと思い寄稿する次第です。残念ながらこれだけ国際化しても日本人(特に若者)も英語(会話)が苦手です。某調査によると30カ国中、英会話(話す聞く)の順位で日本が29位との情けないデータがあります。

皆さんは信じられないでしょうが、これが現実なのですよ。

私も在職中から社内講師として、また外部でも、教えましたが、とにかく日本人の英会話レベルは低い。ではなぜ日本人は英会話が苦手なのか？ 理由は次のとおりと推察します。

1. 本来日本人は母国語でも会話が苦手で、仮に日本語で討議しても優位になれない。
2. 学校教育が悪いのか(事実と思う) 文法ばかり教えて、実際に使う英語を教えない。
3. 国民性もありミスを恐れる。人前でミスると恥ずかしい。完璧主義に走る。

大体この三つを克服すれば、どんなに英語が苦手な人でも英検の2級ぐらいは取得可能です。因みにTOEIC資格のほうが一般的なのではと思われるかもしれませんが、私見は英検のほうが実力チェックには適しています。理由はTOEICは機械的な頭の訓練でホントの力は判断しにくい。ビジネスをやるなら、英検だと2級、出来れば準1級あれば簡単な契約書も読めるし、海外取引実務はOJTで訓練すれば充分いけます。

私と同意見の講師も結構います。余談ながら私は過去にTOEIC満点(990点)の生徒を教えたことがあります。その実力の低さに驚いたことがあります。信じられない。

現在ビジネスマン以外にも一般の方々(主として還暦前後の女性)に英会話を教えていますが、最初はほとんど喋れなかった方も今は数分あるテーマについて発表されるぐらいまでレベルアップしています。(自画自賛失礼) 英検3級ぐらいあれば一般会話も充分です。そのポイントはミスを恐れず兎に角しゃべることを徹底したからなのです。

では次回に具体的例文で説明します。All you have to do is practice. Good luck.

### 【‘わんりい’の原稿を募集しています】

‘わんりい’は、2月と8月を除く毎月発行の当会の会報です。主として、会員と会の関係者の皆さんの原稿でまとめられてます。海外旅行で体験された楽しい話、アジア各地の情報やアジア各地で見聞した面白い話などを気軽にお寄せ下さい。又‘わんりい’の活動についてのご希望やご意見及び‘わんりい’に掲載の記事などについても、簡単なご感想をお寄せいただければと存じます。

日中文化交流市民サークル ‘わんりい’

## サハ共和国・ヤクーツクだより ⑪

杉嶋俊夫

この連載の第一回を載せていただいたのが昨年(2019年)の5月号。ちょうどあれから一年経ちました。これで最終回となります。今回はヤクーツクで出会った青年のことを中心に記したいと思います。

### ◆サハ人青年・ステパン君

雪も解け、だいぶ外が歩きやすくなったある日、私のことを「友達から聞いて会いたくなった」との電話がありました。電話をかけてきたのは、まだ二十代前半の青年。日本や海外と関わればいいことがあるなどと安易に考えているのでは？ と思いたくなってしまうような人々が私に接触してくることが過去に何度かあったので、「またその手の電話か ...」と少々迷いましたが、会ってみることにしました。

会って話を聞いてみると、すでに日本に一年弱留学したことがあり、日本語もそれなりに話せる、とのこと。生い立ち、日本での体験などを聞いていくうちに、彼が真面目な青年であることがわかりました。

彼の名はステパン君。会ったのは数回だけでしたが毎回、彼の多芸さと知識の豊かさに驚かされました。サハの歴史と文化に関する知識も膨大で、その大半は、日本滞在中にサハについて度々訊かれるので、自分で調べて身につけたのだそうです。現在、彼は工芸作家・ミュージシャンとして活躍中です。ステパン君作詞の日本語の歌もインターネットで聞くことができます。

(Yume <https://www.youtube.com/watch?v=gDAPVgsznGI>)

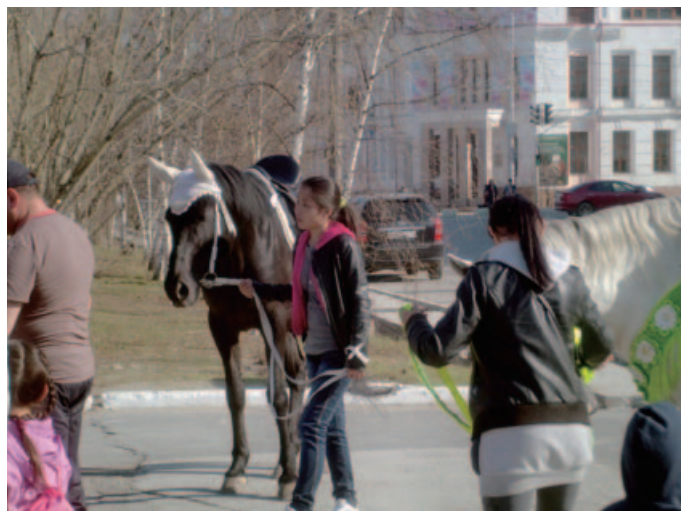
私がお世話になった北東連邦大学にも彼のような才能溢れる若者たちがいました。これから大いに活躍してほしいものです。赴任当初に抱いていた希望のいくつかは残念ながら叶いませんでしたが、このようなユニークな人々との出会いには恵まれた4か月間でした。



**ステパン君** 最近、本人がEメールで送ってくれた写真。彼は作詞だけでなく作曲もします。ロックグループRokudoとしての演奏活動は今年の5月から開始するそうです。



**アイスクリーム屋さん** こちらも真夏の暑い日にレーニン広場で撮った写真。他のロシアの都市同様、アイスクリームは、バス停のそばにあるキオスクや車で売られています。



**レーニン広場で見かけた馬** ヤクーツクでは暖かくなると、市の中心にあるレーニン広場で有料で馬に乗せてくれます。サハには大別すると、サハの馬とロシアからの外来の馬の、2種類いるそうです。この写真の馬は、後者。



## ◆サハ関連の新刊の紹介

今回もまた「ニュース」をひとつ。つい最近、『水・雪・氷のフ  
ォークロア-北の人々の伝承世界』(山田仁史・永山ゆかり・藤原  
潤子編、勉誠出版)という本が出版されました。サハ、ユカギ  
ールやその他のシベリアの諸民族の物語・民話から自然環境との  
関わりを探るという内容です。こうして「近くて遠い」サハ共和国  
や周辺地域のことを日本語で知る機会が増えて嬉しく思います。

日本に帰国して、はや、9か月が過ぎました。ヤクーツクに関わ  
ったおかげで、帰国後も意外な再会や面白い出会いが続いています。  
私は一昨年まで、二度とロシアを訪れることはないと思い込んでい  
ました。そんな人間がサハ共和国で生活できたことは幸運としか言  
いようがありません。

再びヤクーツクを訪れることは当分ないかもしれませんが、滞  
在中に頂いたご縁は大切に生かしていきたいと思います。最後に、こ  
の連載のチャンスを下さった‘わんりい’の田井さん、お読みくださ  
った方々、ヤクーツクでお世話になった皆さんに、この場を借りて御  
礼申し上げます。本当にありがとうございました。



**高床式アパート** ヤクーツクの建物は大半が高床式です。永久凍土地帯なので、長い杭を打ち込んで、建物から出る熱で表層の氷が溶けないように「床を浮かせて」建てるのです。

**杉嶋俊夫 略歴：**東京都町田市生まれ。千葉大学卒。大学で認知心理学を専攻、途中で言語学に転向、シベリア先住民の言語を学ぶ。院在籍時に西シベリア・トムスクの大学に留学したことがきっかけで、トムスク市やロシア西部・リャザン市にある大学で日本語を教える。今回の派遣も、リャザン大学の時と同じ日露青年交流センターの派遣プログラムによる。

## 《‘わんりい’掲示板》

麻生市民館利用団体による見ごたえ満載の祭！

**あさおサークル祭2014** 2014年6月7日(土)・6月8日(日)

**場所：**川崎市麻生市民館(小田急線新百合ヶ丘北口3分)

### 【‘わんりい’参加のプログラム】

●6月7日(土)視聴覚室 10:00～12:00  
**‘わんりい’お宝・京劇ビデオ「長坂坡」上映**  
京劇俳優・張紹成氏による解説付き

中国京劇界の人間国宝・王金璐(wáng jīn lù)が演ずる三国志の英雄・趙雲の美しくも迫力満点の立ち回りを見る。

●6月7日(土)大会議室 14:30～15:30  
**アンデスの民族楽器・ケーナの演奏**  
演奏者：山下孝之

どこか懐かしく、どこか心なごむケーナの音色を生かした日本的味わいのある山下孝之の作曲など多数！

### ▲第9回「弦之縁」

#### 姜小青フレンドリーコンサート

古箏と二胡とギターの素敵なハーモニー

<http://lasa-kikaku.cside.com/thoma/index.php?itemid=816>

出演：姜小青(古箏)

ジャープンファン  
賈鵬芳(二胡)

かたやま まこと  
嘉多山 信(ギター)



▲2014年6月13日(金)19:00開演  
▲めぐろパーシモンホール・小ホール  
(東京都目黒区八雲1-1-1)

●参加費：4,000円(当日/4,500円) 全席自由  
●問合せ&申込：☎080-1304-7347(村山)  
FAX：045-313-5188  
E-MAIL：xianzhiyuan\_hz@ybb.ne.jp  
●主催：姜小青フレンドリーコンサート実行委員会

### ▲劇団文化座公演140

声優・佐々木愛の語りと、モンゴル国立民族歌舞団の歌と演奏とのコラボでお贈りする馬頭琴誕生の心温まる物語

**『スーホの白い馬』**(新作)モンゴル民話より  
(作・演出：島守辰明)

シアターX(カイ)<http://www.theaterx.jp/14/140529-140606t.php>

墨田区両国2-10-14両国シティコア1・2F

両国駅[西口]から徒歩約3分 ☎03-5624-1181

5月29日(木)～6月6日(金)

●参加費：5500円  
(わんりい関係者は、5000円になります)

▲親子シート、公演時間はお問合せ下さい。

主催：劇団文化座

後援：モンゴル国観光省/駐日モンゴル大使館/他

問合せ：劇団文化座

☎03-3828-2216 FAX03-3828-2260



◆わんりいの催し

**アルジェリア料理・クスクスを味わってみよう会**

アルジェリアから日本に留学中のサミラさんが、クスクスという故郷の味を教えてください。クスクスは、本来はスパゲッティの材料として知られるデュラム小麦を粟粒大に丸めてそばろ状にしたもので、パスタの一種といってもよいですね。この微粒のパスタを使った料理が一般的にクスクスと呼ばれ、アフリカンレストランなどのメニューに加えられています。日本ではまだあまり馴染みがありませんが、最近では手に入れるのも難しくなくなりました。サミラさんを囲んで一緒に作って、皆さんの料理のレパートリーに加えませんか。



●まちだ中央公民館 6F・調理実習室

〒194-0013 東京都町田市原町田6-8-1 / 小田急線町田駅南口 徒歩5分 / JR横浜線町田駅ルミネ口徒歩3分

●2012年5月28日(水) ●10:30 ~ 14:00(予定) ●会費: 1500円 ●定員: 先着15名

●当日メニュー: クスクス料理などのアルジェリア料理 2、3品 他

◆申込み: ☎042-734-5100(わんりい) E-mail: wanli@jcom.home.ne.jp



**町田国際交流センター・協力部会の催し**

**【講演会】**

**あなたも私もできる“国際支援”二つの例**

和光大学ポブリホール鶴川・多目的室(定員90名)

▲2014年6月14日(土) ▲13:15~16:15

1) 13:15 ~ 14:30 【NPO法人 ネパール・ミカの会】

こども達の未来は“識字”から始まる

講師: 理事長・斉藤謹也 氏



スライドを交えてネパールの教育の現状とネパールミカ 会の支援活動の様子など

2) 14:45 ~ 16:15 【認定NPO法人 日本雲南<sup>れんぎ</sup>連誼協会】

ハードからソフトへ、日本と雲南の交流を深める教育支援

～ その活動の展開 ～



講師: 理事長 <sup>はじかのけいらん</sup> 初鹿野恵蘭 氏

雲南省の現状や支援活動を通して目指す 新しい日中間の人材育成について

\*ビデオ上映有り

問合せ: ☎042-722-4260 町田国際交流センター

申込み: 名前/住所/☎/参加者数を書いて下記Faxで FAX:042-722-5330 町田国際交流センター

**岡上中国語研究会新会員募集**

中国語初めての方大歓迎。直接見学も大歓迎。

●毎週土曜日 10:00 ~ 12:00

●麻生市民館岡上分館 (215-0027 麻生区岡上 286-1)

●講師: 劉 冠群 先生 (北京出身)

●会費: 月謝 3,500 円

●問合せ: ☎044-988-2031 (本間<sup>ほんま</sup>)

E-mail: tizm2008@jcom.home.ne.jp (和泉<sup>いずみ</sup>)

◆わんりいの催し

**中国語で読む・漢詩の会**

▲場所: まちだ中央公民館・学習室7

▲月日: 2014年5月18日(日)6月8日(日)

▲時間: 10:00 ~ 11:30

▲講師: 植田渥雄先生

(現桜美林大学孔子学院講師)

▲会費: 1500円(会場使用料・講師謝礼など)

▲定員: 20名(原則として)

\*録音機をお持ちの方はご持参下さい。

◆申込み: ☎050-1531-8622(有為楠)

E-mail: ukiuki65@yahoo.co.jp(同上)



◆わんりいの催し

**ボイストレーニングをして  
日本の歌を美しく歌おう!**

◆動きやすい服装でご参加ください

まちだ中央公民館・6F視聴覚室

▲5月20日(火)、6月24日(火)

▲時間: 10:00~11:30

▲5月の練習歌「翼をください」

▲講師: Emme<sup>エムメ</sup>(歌手)

▲会費: 1500円(会場使用料・講師謝礼など)

▲定員: 15名(原則として)

●申込み: ☎042-735-7187(鈴木)

E-mail: wanli@jcom.home.ne.jp(田井)



**【2014年5月の定例会及びおたより発送日】**

◆定例会: 5月6日(火) 13:30 ~

三輪センター・第5会議室

◆6月号おたより発送日: 5月30日(金) 10:30 ~

三輪センター・第三会議室 お弁当を持参下さい。